

必要ではないこと

入場券  
前売り  
¥3,000  
・  
当日  
¥3,500

右肩上がりの経済成長は終わったと  
結構昔に聞いた気がするけど・・・。

いまだに、景気はいつになったら

回復するのかと、

いろんなところで言われている。

必要ではないモノにあふれて、

それでも、これでもかこれでもかと、

買わせようとする。

あなたもそうですか？

必要ではないことを私に迫るのですか？

私は理解していないのですか？

こうすることが、大事なことだと。

ところで

私はあなたにとって必要ですか？



第64回 高知市文化祭共催行事 / 財高知新聞厚生文化事業団 助成事業

## 40周年記念 内山時江ダンスシアター

# 必要ではないこと

～ア・ナ・タ Part7～

2012

5.19sat

17:45 open 18:00 start

5.20sun

14:45 open 15:00 start

内山時江モダンバレエスタジオ

# 実存のペシミズム

私はこの一年大層不器用な人生を送りました。

それは、ダンサーにとって一番大切な脚の手術を二カ所、  
まだ一カ所は末期のまま過ごしています。

私の踊りは素直にその人生を振り付けにしました。

ダンスシアターは40周年を迎えます。“アナタシリーズ”は7回目です。

数年前から作品を松原秀種氏に依頼しています。

私はもちろん、研究生にとりましても他者からの指導が  
大変勉強になると考えたからです。



内山時江



松原秀種

「例年3月から始めるリハーサルを2月から始めました。  
寒い寒い2月でした。

そして、その前の夏は暑い暑い夏でした。

で、春が来ました。

もうすぐ夏です。

こうやって続きます。

どうやら50億年は。

でも、その先はわからないんです。

宇宙にだって永遠はありません。

諸行無常の鐘が鳴るんです。

アインシュタインも言っています。言っていないか……

だから、今日この日です。

今日にこの日に気持ちを込めない」と。

## 【プロフィール】

北海道大学工学部卒、各コンクール受賞後、文化庁在外芸術家派遣研修員として1年間パリで研修。帰国後「いきなりDance Function M」を主宰し、毎年の定期公演で新作を発表し続けている。

## Dancers

内山時江 徳永阿佐子 岩崎多江子 吉村久美子  
辰本佳菜子 中島杏菜 木下賀恵 松原秀種(ゲスト)

## Staff

作・演出：松原秀種 振付：松原秀種・内山時江 美術：枳工房・北川寛  
衣装：鳥海恒子 照明：四国舞台テレビ照明 写真：小島慶重 制作：吉村久美子



### 徳永阿佐子

時江先生、40周年おめでとうございます。  
先生のダンスに対する情熱と時江ワールドなダンスの世界に毎回新鮮な驚きを感じさせてられています。  
これからもご健康で、私たちに素晴らしい驚きを伝えて下さいますように願っております。



### 辰本佳菜子

40周年おめでとうございます。  
これからも時江先生や松原さん、スタジオの皆と楽しく踊っていきたいと思います。



### 岩崎多江子

1989年に入所して5年目、1993年の「イカロスの翼」が私にとっての初ダンスシアターでした。ホールの舞台とはまたひと味違い、お客様も目の前にいらっしゃり厳しいけれど、ライブ感溢れる魅力的な時間と空間が創り出される、私の大好きなひとときです。  
今回は40周年になります。時江先生はどんな時もダンスシアターを続けてこられました。それは、並大抵のことではありません。今回出演できますことを時江先生をはじめ、松原さん他皆様のおかげと深く感謝し、踊らせていただきます。  
それから、故北村政喜会長！今年も時江先生は踊ります！そして、私も！



### 中島杏菜

ダンスシアターに出ていること自体信じられませんが、40周年という節目の年に出演できることに驚きと嬉しさでいっぱいです。  
独特の世界観を皆さんと楽しみたいと思います。



### 吉村久美子

時江先生、ダンスシアターの40周年を無事迎えられ本当におめでとうございます。  
いつも凛とした雰囲気や漂わせ、時に厳しく時に優しく接して下さる先生。10歳のときに習い始めて以来、先生の世界に没かりきっています。憧れていたお姉さんたちが踊るダンスシアターを背伸びして見ていたあの頃が懐かしいです。一番動けたであろう年齢に高知を離れていて出戻りの私ですが、皆について行くことが精一杯の歳になってしまいました。  
先生、これからも益々お元気で創作の嵐を起こして下さい！



### 木下賀恵

40周年おめでとうございます。  
6回目の参加を迎え、感性や表現力の未熟さや難しさを自覚し、目下、迷路にて探索中。

必要ではないこと

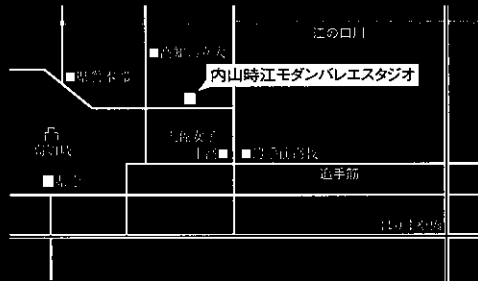


〔高新PG・大丸PGにて発売〕

前売り ¥3,000・当日 ¥3,500

### 内山時江 — 舞踊家 —

- 1960年 高知市に独立
- 1966年 第9回世界青年平和友好祭(ソ連)に参加、作品発表「阿修羅」
- 1971年 アメリカ留学(ニューヨーク、マーサ・グラハムに師事)
- 1980年 パリ留学(アラン・ダベンヌ、レイモン・フランケッティに学ぶ)
- 1994年 平成6年度文化庁芸術祭参加内山時江現代舞踊公演  
(東京草月ホール)、「婉という女」芸術祭賞受賞
- 1995年 平成7年度文化庁優秀舞台芸術公演奨励事業「婉という女」  
高知公演、文化賞受賞。平成7年度文化庁助成による現代舞踊公演「婉という女」(メルパルク東京)
- 2006年 5月:平成18年度高知市文化祭共催 ダンスシアター  
「ア・ナ・タ No.1 鏡の呼ぶ声」、ア・ナ・タシリーズをスタートする
- 2012年 5月:平成24年度高知市文化祭共催 ダンスシアター  
「ア・ナ・タ No.7 必要でないこと」



お問い合わせ TEL:スタジオ 088-875-3323  
事務局 090-4334-0700

主催:内山時江モダンバレエ研究所  
共催:高知市文化祭共催  
後援:高知新聞社・RKC高知放送・NHK高知放送局  
KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ  
高知県・高知市教育委員会